2026年11月16日

各　位

会 社 名　株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名　代表取締役社長　　小池　正道
（コード：4583　東証グロース）
問合せ先　管 理 本 部 長　　田中　美旋律
（TEL. 03-6383-3561）

ヒト化DLK-1抗体・FGFR4阻害剤併用に関する米国における特許査定についてのお知らせ

このたび、当社で開発を進めているがん治療用候補抗体ヒト化DLK-1抗体に関する特許出願について、米国における特許査定通知を受領いたしましたので、お知らせいたします。

本特許は、弊社で臨床開発中のCBA-1205を含む、ヒトDLK-1を標的としたヒト化モノクローナル抗体と、肝細胞がんの治療薬として開発されているFGFR4阻害剤との併用に関するものです。本特許は、これまでに日本で特許が成立しており、現在、欧州、中国などでも出願中です。今回の特許査定は当社での開発及び導出活動を支える知財基盤を強化するものであると考えております。

【発明の名称】　がん治療用医薬
【特許出願番号】　米国特許出願No.18/030,203
【特許権者】　株式会社カイオム・バイオサイエンス

本件が2026年12月期業績に与える影響はありません。

＜CBA-1205について＞

CBA-1205は、肝臓がんを中心とする固形がんの細胞表面に発現している抗原（標的分子）DLK-1に結合し、がんの増殖活性を阻害するヒト化モノクローナル抗体です。現在、肝細胞がんや肝芽腫をはじめとした小児固形がんの患者さんを対象とした国内臨床第1相試験を実施しており、本試験で得られる安全性および初期的な有効性データを用いて当社は製薬会社への導出を目指してまいります。

＜DLK-1について＞

DLK-1（Deltalike homolog-1）は幹細胞や前駆細胞といった未熟な細胞の増殖、分化を制御すると考えられており、肝臓がんの細胞表面に発現し、その増殖に関与していることが発見された、新しいがん治療の標的になりうる可能性がある分子です。

以上